



教科名： 法定2年点検・車検 I

2024年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期： 2 年 後期

科 目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

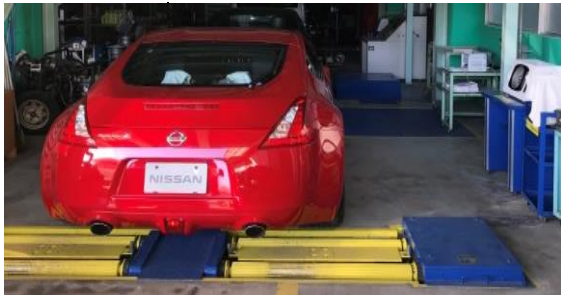
改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	5/21	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科					2024年度		授業計画	
時 期	2 年後期	単 元	実 習	教科名	法定2年点検・車検 I			
科 目	自動車検査作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書		発行日	2024年5月21日		
			法令のテキスト					
※ 注1	総時限		3 2時限	電卓		教科担 当	小山 純	※ 注2 ● ■
※ 注1	授業時間	51.2時間	自動車整備工具・機器					※ 注2 ● ■
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1945.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））								
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当								
自動車整備士として法務点検・車検の実務経験がある教員により、法定 2 年点検・1 年点検の点検項目を明確化できるよう指導する。								
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）								
1. 法定 2 年点検の点検項目を習熟。								
2. 法定 2 年点検と法定 1 年点検の点検項目を明確にし、法令問題の底上げを行う。								
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）								
1. 点検項目を見れば、該当する箇所が理解し点検出来る。								
2. 法定 1 年点検項目と法定 2 年点検項目を理解し1人で点検出来る。								
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）								
実習評価点は、技術評価点（70点）＋レポート評価点（15点）＋取組評価点（160点以上（工学科は70点以上）を合格とする								
技術評価点								
・実技試験 60％ ① 2 年点検実技試験								
・筆記試験 40％ ① 点検項目を区別する問題								
5. 準備学習								
1. 二年次のA巡で行った法定 1 年点検を復習・定期点検作業要領書をあらかじめ読んでおくこと。								
2. 授業終了後、教員から指示された教科書・資料の項目を復習しておくこと。								
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す								
※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者								
6. 指導目標								
1. 法定 2 年点検項目の点検方法を習熟し、確実にスピーディーな作業が出来るようにさせる。								
2. 自家用乗用車等の点検基準において、1年毎・2 年毎の項目を区別出来るようにさせる。								

2024年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科			2024年度		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	法定2年点検・車検 I	
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)						
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック	
1	エンジン始動時	始動時必ず声掛けを行う。 AT車のためにPでの始動を行う。		指をベルトに巻き込んだりしないように全員で気をつける。		
2	リフト操作	上げ下げの声掛けを行う。				
3	灯火点検	AT車のためバックランプ点検後Pにもどす。				
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)						
実習場						
第1実習場			検査ライン			
						
※車両はA A Oデイズを5台使用する。			実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。			